

保健福祉学部 看護学科 教授 佐藤 郁恵

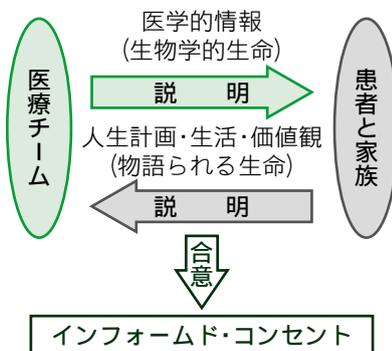
医療の場では、インフォームド・コンセントを重視しています。インフォームド・コンセントとは、「説明と同意」(日本医師会、1990年)と言われ、一般的に医療者から患者やその家族に対して、面談を通して適切に医療の方針を説明して、患者が同意、許諾することとされています。

がん剤の投与を続けるのか、輸液を続けるのか、胃ろう※1をつくるのか、在宅療養を継続するのか、転院するのか、最期の延命処置に対する意向など、戸惑うことが多くあります。

医療の意思決定にとって重要な情報は、医学的情報(生物学的生命)だけではなく、患者とその家族の人生計画、生活、患者自らの価値観に基づいて治療をどのように考えるのかという情報(物語られる生命)です。医療者は、患者とその家族の情報を知って、支援することを考えます。

医療における意思決定プロセスは、「相手を人間として尊重する」という姿勢であり、「相手と共同で行うを進める」ことです。医療者と患者とその家族が相互に説明をし、情報を共有し、話し合いを通して、最善と考えられる方向で合意を目指すプロセスが、本来のイ

ンフォームド・コンセントと言えます。



以前に関わった患者は、仕事を優先したいという意向で手術療法も抗がん剤治療も拒否しました。痛み止めの内服薬も飲まず、痛みを我慢していました。せめて痛み止めだけでも内服して欲しいと思いましたが、患者の意思は固く、受け入れていただくことが難しい状況でした。徐々にコミュニケーションを通じて、患者自身は「胃が悪い病気なので内服薬は飲めない」と思っていたことが分かり、

その後、医師に相談をして経皮的※2な痛み止めに変更してもらいました。

このように、患者やその家族は、医療者に遠慮をしないで、なかなか本音が言えない状況にあります。医療者は、患者が医療を受けるなかで抱える問題は、患者とその家族と共同で解決していきたいと考えています。

※1 胃ろう

腹壁を切開して胃内に管を通し、食物や水分や医薬品を流入させ投与するための処置

※2 経皮的

「皮膚を通して」、「皮膚の上から」という意味



大学図書館へようこそ!

7月16日・17日は名大祭の一般公開が行われます。図書館では今年も次のイベントを企画しました。

＜ビブリオバトルin名大祭＞

学内予選会を勝ち抜いた学生が気に入りの本を5分間で紹介し、「どの本が読みたくなったか」を基準に投票を行って「チャンプ本」を決定する書評ゲームです。



ぜひ、観戦して投票に参加してください。

- ◆とき 7月16日(土) 10:00~11:00
- ◆ところ 市立大学新館2階 学生ラウンジ
- ※申込不要。お気軽にお立ち寄りください。

＜サイエンスカフェin名大祭＞

社会保育学科の堀川真准教授による『もりのやきゅうちーむふあいたーず絵本のおはなしと「空飛ぶ工作」と題した講演と意見交換などを行います。簡単な「空飛ぶおもちゃ」作りも予定しています。

- ◆とき 7月17日(日) 10:00~12:00
- ◆ところ 市立大学新館2階 学生ラウンジ
- ※参加無料。電話またはメールで申し込みください。
- ※フリードリンクとお菓子を用意しています。

◆申し込み・問い合わせ

名寄市立大学図書館
☎01654②4199(本館:内線3114/分館:内線2200)
✉science@nayoro.ac.jp